

授業科目	*精神看護方法論					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	前田 由紀子、矢治 亜樹子						
授業概要	実務家教員として精神科病棟に看護師として勤務した経験を活かし、精神疾患を持つ人の看護をとりあげる。精神看護学概論で学んだ基礎知識を踏まえ、精神の健康の維持および精神疾患からの回復を援助するための原理と方法を解説する。精神機能の障害がどのように生活に影響を及ぼすのか、社会生活において精神障がい者やその家族が直面する困難さや不利益などを取りあげる。その上で精神疾患により生活障害を抱える人々に対する治療および看護の方法を解説する。また、精神障がいを抱えながら地域で暮らす人々への支援体制やその役割について解説する。						
授業形態	対面授業	授業 方法	グループワーク、プレゼンテーション				

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 対象者へのかかわり方の理論と技術の基本を説明できる。 2. 精神に障がいのある対象の特徴と看護の役割、および精神科看護に必要な援助技術を説明できる。 3. 精神医学的な知識を基本に、精神科の各種治療法とその看護を説明できる。 4. 精神障がい者が、地域で生活していくために必要な援助とそれを支える保健・医療・福祉の支援システムについて説明できる。
	対象者へのかかわり方の理論と技術の基本を理解したうえで、精神障がい者の特徴と看護の役割、および精神科看護に必要な援助技術を説明できる。 精神医学的な知識を基本に、精神科の各種治療法とその看護について説明できる。 精神障がい者が、地域で生活していくために必要な援助とそれを支える支援システムについて説明できる。
理想的レベル	標準的なレベルをすべて網羅できたうえで、さらに関心ある精神科看護の課題について積極的、主体的に学びを深めることができる。習得した知識を基にグループでディスカッションをしたり、関連の文献を積極的に購読するなどで精神疾患と精神障がいとの関連を深く理解し、精神疾患を持つ患者とのかかわりの工夫を考えることができる。精神障がい者が地域で生活することの意味と長期入院の弊害について考察し、地域生活支援に必要なチーム医療とその中の看護の役割について説明できる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト	0	
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU21328J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）		1回の目安時間（時間）
予習：テーマについてテキストを読み、内容を把握する。復習：テーマについてノートを整理し理解を深める。		4
授業計画		
第1回	テーマ：精神看護方法論のオリエンテーション（授業進行、課題など）（前田由） 精神医療・看護の対象者：精神の病気・障害を持つということ（精神を病むとはどういうことか、どのような体験をしているのか）について解説する。	
第2回	テーマ：精神障がいをもつ人の治療的環境（前田由） 治療的環境と生活の場としての環境のあり方、そこにある倫理的問題について解説する。	
第3回	テーマ：精神障害を持つ人と「患者—看護師」関係の構築（前田由） 精神障がいをもつ人との「患者—看護師」関係のあり方やケアの意味を解説する。	
第4回	テーマ：精神障がいをもつ人への看護援助の展開1（前田由） このテーマは1回当たり2コマで実施する。4回目と5回目は連続して行う。 精神障がいを持つ人への看護援助の基本的構造とセルフケア援助のあり方について解説する。	
第5回	テーマ：精神障がいをもつ人への看護援助の展開2（前田由） 精神障がいを持つ人への看護援助の基本的構造とセルフケア援助のあり方について解説する。	
第6回	テーマ：精神障がいをもつ人への看護1（前田由） 統合失調症急性期の病態とその看護について解説する。	
第7回	テーマ：精神障がいをもつ人への看護2（前田由） 統合失調症慢性期・回復期の病態とその看護について解説する。統合失調症の看護についてグループワークし、全体共有を行う。	
第8回	テーマ：精神障がいをもつ人への看護3（前田由） 気分障害の病態とその看護について解説する。	
第9回	テーマ：精神障がいをもつ人への看護4（前田由） 気分障害の病態とその看護について解説する（2） 神経症性障害、ストレス関連障害の看護について解説する。	
第10回	テーマ：精神障がいを持つ人への看護5（前田由） 物質関連障害および嗜癖性障害の看護について解説する。 認知症患者の看護について解説する。	
第11回	テーマ：司法精神医学と看護、災害時の精神保健（前田由） 司法精神医療と司法精神科看護について解説する。 災害時のこころのケアについて解説する。	
第12回	テーマ：精神保健活動とリハビリテーション（前田由） 精神科リハビリテーションの考え方と地域精神保健活動における社会資源の活用について解説する。	
第13回	テーマ：精神障害を持つ人の地域における生活への支援（外部講師・ACT） 精神障がいをもつ人への地域支援の実際と看護者の役割について解説する。	
第14回	テーマ：精神障がいをもつ人への看護6（前田由、矢治） 発達障害、PTSD、強迫性障害、摂食障害、パーソナリティ障害を持つ患者への看護について解説する。	

第15回	<p>テーマ：精神障がいをもつ人への看護 7(前田由、矢治)          身体疾患を合併している患者への看護について解説する。          テーマ：リエゾン精神看護および精神看護専門看護師          リリエゾン精神看護専門看護師および精神看護専門看護師の役割、実際の活動について解説する。</p>
テキスト	岩崎弥生、渡邊博幸(編) 新体系看護学全書 精神障害をもつ人の看護 第6版 メディカルフレンド社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	中井久夫・山口直彦／著「看護のための精神医学」(医学書院)、他授業中、隨時紹介
課題に対するフィードバックの方法	レポートのテーマは授業中に指示し、提出された内容については全体を通してコメントします。講義のリアクションペーパーに対するコメントは次回の講義、またはクラスルームを使ってフィードバックします。発表は、グループで口演発表していただき授業内にコメントします。
学生へのメッセージ・コメント	精神疾患や精神看護学概論など既習の知識を再確認して受講してください。 精神医療・看護に関する図書やメディアに関心を寄せ、学習に対する姿勢を日頃から深めてください。

